

# 学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【小学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

質問項目の内、さいたま市が重視している12項目を抜粋して掲載しています。

### 生活習慣等に関する調査

さいたま市の小学校第6学年の回答状況と自分の回答状況

質問項目	さいたま市の回答状況	自分の回答
<b>将来に関する意識</b>		
① 将来の夢や目標をもっている。	%	%
<b>学校生活</b>		
② 学校に行くのは楽しい。	%	%
<b>自尊意識</b>		
③ ものこを最後までやり遂げてうれしかったことがある。	%	%
④ 自分に自信を持っている。	%	%
⑤ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。	%	%
⑥ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	%
<b>学習状況等</b>		
⑦ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。	%	%
⑧ 読書が好き。	%	%
<b>キャリア教育</b>		
⑩ 学ぶことや働くことの意義を考えたこと、自分の将来とのつながりについて考えたことがある。	%	%
<b>規範意識</b>		
⑪ 学校のきまり(規則)を守っている。	%	%
<b>家庭でのコミュニケーション</b>		
⑫ 家の人と学校での出来事について話をしている。	%	%

市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

保護者より

---

## 令和4年度 さいたま市学習状況調査【小学校第6学年】

### 学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）

お子さんの正答数を示しています。

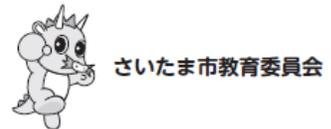
市の平均正答数を示しています。分母は問題数を示しています。※ここでは、国語は、全19問のうち、市の平均正答数は〇〇問であることを示しています。

科目	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/19問
<b>国語</b>				
書写の特徴や使い方(8問)				
読むこと(3問)				
書くこと(2問)				
話すこと・書くこと(5問)				
情報の扱い方(1問)				
<b>算数</b>				
図形(4問)				
変化と関係(5問)				
<b>社会</b>				
地域の環境と人々の生活(7問)				
歴史と人々の生活(6問)				
現代社会の仕組みや働きと人々の生活(5問)				
<b>理科</b>				
エネルギー(4問)				
生物(5問)				

領域等の正答率を示しています。実線でお子さんの正答率を、点線で市の平均正答率を示しています。

- 正答数  
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率  
さいたま市の児童が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率  
あなたが、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。

【令和4年度発行】  
さいたま市立教育研究所



名前

---

「学力に関する調査」の各設問ごとの解答状況等を確認することができます。  
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

令和4年度 さいたま市学習状況調査【小学校第6学年】

今年度	アドバイス
○	さらに、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。
×	同じような問題をくり返し解いて、力を伸ばしていきましょう。



調査結果表 6年 名前

国語

さいたま市の児童が各設問に正答した割合(%)を示しています。  
 ○：正答 ×：誤答 -：無解答を示しています。

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
国語	ア	(1)			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(集)
		(2)			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている(生)
		(3)			漢字を文の中で正しく使うことができる。(観)
国語	オ	(1)			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(集)
		(2)			文の中の主題と述語の関係を理解している。
		(3)			文の中の主題と述語の関係を理解している。
国語	イ	(1)			相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことができる。
		(2)			表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。
		(3)			俳句の情景をえらえることができる。
国語	エ	(1)			登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をえらえ、優れた叙述について、自分の考えをまとめることができる。
		(2)			登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をえらえ、優れた叙述について、自分の考えをまとめることができる。
		(3)			書くために集めた材料を関係付け、伝えたいことを明確にすることができる。
国語	カ	(1)			相手や目的に応じて内容を取り上げ、考えを比較しながら聞くことができる。
		(2)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
		(3)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
国語	キ	(1)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
		(2)			話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。
		(3)			書き手の表現の仕方に着目して助言し合うことができる。

問題ごとの市の平均正答率を示しています。

算数

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
算数	1	(1)			小数の減法の計算をすることができる。
		(2)			分数の乗法の計算をすることができる。
		(3)			分数の減法の計算をすることができる。
		(4)			分数、小数、整数の混合した計算をすることができる。
		(5)			1にあたる大きさを求めるために、除法を用いることを、回と関連させて考えることができる。
算数	2	(1)			除法の性質を用いて、分数の除法を考えることができる。
		(2)			除法の場面を捉え、式と場面を適切に判断することができる。
		(3)			円周の場面を把握し、円の半径から円周を求めることができる。
算数	3	(1)			円周を構成する要素に着目し、作図をしている円形を考えることができる。
		(2)			拡大図や縮図について理解している。
		(3)			線対称な図形の性質を基に、正方形の欠けた部分を考えることができる。
算数	4	(1)			基準量・比較量・割合の関係を捉え、比較量を求めることができる。
		(2)			等しい比のまま、簡単な比にすることができる。
		(3)			部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。
算数	5	(1)			比例の関係を用いて、画用紙の枚数を求める方法を考えることができる。
		(2)			比例の関係を用いて、画用紙の枚数を求める方法を考えることができる。
		(3)			棒グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
算数	6	(1)			事象を数理的に捉え、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べることができる。
		(2)			示された場面において、目的にあった数の処理の観点を定める。

社会

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
社会	1	(1)			八方位(北西)を理解している。
		(2)			市役所の地図記号を理解している。
		(3)			方位や地図記号を活用することができる。
社会	2	(1)			複数の資料の情報をまとめて、埼玉県の特徴を表現することができる。[H30読解]
		(2)			東京都の名称と位置を理解している。
		(3)			ブラジルの位置と国旗を理解している。
社会	3	(1)			ユーラシア大陸の名称や日本との位置関係を理解している。[H30読解]
		(2)			販売や観光で活用されている情報ネットワークの特色について考えることができる。
		(3)			販売や観光で活用されている情報ネットワークの特色について考えることができる。
社会	4	(1)			立法、行政、司法が果たす役割を理解している。
		(2)			地方公共団体が国民生活において果たす働きを考え、表現している。
		(3)			地方公共団体が国民生活において果たす働きを考え、表現している。
社会	5	(1)			縄文時代のくらしを調べるためにみさきしい資料を選択することができる。[H30読解]
		(2)			弥生時代に入ってから米づくりが盛んになったことで、人々のくらしがどのように変化したのかを考えることができる。
		(3)			源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由を考えることができる。
社会	6	(1)			幕府(将軍)と御家人(武士)の関係について理解している。
		(2)			江戸時代における参勤交代や鎖国などの幕府の政策を理解している。
		(3)			複数の資料から、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。

出題のねらいを示しています。

理科

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
理科	1	(1)			電気の通り道を「回路」と呼ぶことを理解している。
		(2)			乾電池の向きと、モーターの回転方向を関連付けて考えることができる。
理科	2	(1)			おもりの重さとふりこの1往復する時間との関係を調べるための実験装置を考えることができる。
		(2)			実験の結果を基にして、ふりこの1往復する時間はふりこの長さによって変わること考えることができる。
理科	3	(1)			水のあたたまり方を理解している。
		(2)			自らの予想を基に、実験の結果に対して、見通しをもつことができる。
		(3)			燃焼の仕組みを理解している。
理科	4	(1)			物は、水に溶けると液全体に広がることを理解している。
		(2)			実験の結果を根拠にして、考察を行うことができる。
		(3)			問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。
理科	5	(1)			自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。
		(2)			昆虫の体のつくりを理解している。
		(3)			提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
理科	6	(1)			流れの速さはたらいの中で、土地を削るはたらきのことと「しん食」と呼ぶことを理解している。
		(2)			水のはたらきによる地層のつき方を考えることができる。
		(3)			地層の中に見られる大地のずれを「断層」と呼ぶことを理解している。
		(4)			地層の中に含まれるたいげん石と地層がどのように形成されたかを関係付けて考えることができる。

国語でがんばりたいこと 算数でがんばりたいこと 社会でがんばりたいこと 理科でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。